

## ■公開セミナー概要録

日時 平成28年3月22日(火)午後2時

会場 群馬県庁「ビジターセンター」

内容 「コンベンション施設整備について」

講師(説明者) 群馬県企画部コンベンション推進課課長 向田忠正 氏  
「コンベンションが本県にもたらす効果について」

講師(説明者) 群馬県産業経済部次世代産業課次長 齊藤義之 氏

### 概要

県では現在、本県経済の活性化を図るとともに、若者や女性の働く場を創り出すことなどを目的として、高崎競馬場跡地にコンベンション施設の整備を進めている。折角のコンベンションであり、地域経済の振興発展に資する施設となるよう大いに期待を寄せているところであるが、県と共催し、コンベンション施設整備等をテーマに公開セミナーを開催した。

セミナーでは、講師より県内の展示施設の不足から、大規模学会が県外で開かれている現状などが紹介されるとともに、コンベンション施設ができれば本県で学会や国際会議、業界団体の全国大会、1万人規模のコンサートなどが開催できることを指摘。併せて、災害時における防災拠点としての機能を有する施設を目指すことを説明した。また、同施設の効果として、「県内の産業経済の活性化」「新産業を創出するイノベーション装置」「群馬県が世界につながる窓口」「県外へ向かう若者の流れを変える」「交流人口や経済波及効果の増大」などを挙げた。

一方、コンベンションが本県にもたらす効果について、「県内企業のコンベンション関連産業への積極的な参入を支援し、コンベンション開催に伴う新たなビジネスチャンスの獲得を目指す」ことを目的とするコンベンション関連産業振興戦略の概要などが説明された。その後、活発な質疑応答が展開され成功裏にセミナーは終了した。

詳細は、添付資料「コンベンション施設整備について」「コンベンション関連産業振興戦略の概要」をご参照ください。



〔挨拶する吉岡慧治代表幹事〕



# コンベンション施設整備について



## 目次

- 1 コンベンション施設とは
- 2 コンベンション施設の活用
- 3 コンベンション施設の概要
- 4 コンベンション施設の効果
- 5 施設整備に関する質問
- 6 まとめ

# 1 コンベンション施設とは

## コンベンション(Convention)とは？

➡ 人が集まり知識や情報などの交流を目的とした集会

### 具体例

#### 展示会、見本市

- ・ 企業間の商談会(BtoB)
- ・ 顧客向けの販売会(BtoC) 等



#### 各種イベント

- ・ 音楽コンサート(ライブ)
- ・ サーカス 等



#### 学会会議、国際会議

- ・ 専門家による研究発表や意見交換会
- ・ 海外の研究者を招へいた国際会議 等



これらを開催する施設が

**コンベンション施設**

## ■ 県内の展示施設の不足

群馬県には大規模な展示会場が不足している

大規模な展示会の開催は困難

現状の群馬県は  
大規模な展示会の開催候補地にならない

## ■ 学会が県外で開催されている現状

- 群馬大学医学部の教授等が会長等を務める  
大規模学会の約半数が県外で開催されている現実



本当は群馬で開催したいが・・・

**開催可能な大規模施設がない**



やむなく県外で開催・・・

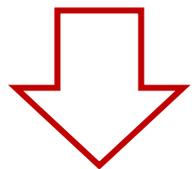


パシフィコ横浜、軽井沢 など・・・

## 2 コンベンション施設の活用

## ■ 地域経済のイノベーションの拠点

- 県内企業の活性化・新産業の創出
- 若者や女性の活躍の場の創出
- 交流人口の増加



これらを実現するもの！

それが**コンベンション施設**

## ■ 展示会・見本市

### ➤ 展示会

- 企業の新しい技術や商品を発表する場
- 県内外から多くの企業やビジネスマンが訪れ商談が行われる



### ➤ 見本市

- 食品や衣類、家電、家具、玩具などの見本市
- その場で商品を買える展示即売会



## ■ 大規模学会・大会

- 大規模な学術会議や国際会議
- 業界団体等の全国大会

- 県内に施設が無いために開催できなかった大規模な学術会議
- 海外から多数の専門家が訪れる国際会議
- 全国に支部のある業界団体等の全国大会やブロック大会



## ■ 大規模なコンサート（ライブ）

- 有名アーティストのコンサート
- 若者向けの大規模なライブ

- 群馬県では開催できなかった有名アーティストのコンサート
- 東京で開催している若者向けの大規模なライブコンサート



**1万人規模のコンサートが  
群馬県で開催できる！**

## ■ その他のイベント

### ➤ 試験会場

- 各種資格試験や大学入試等の試験会場

### ➤ 就職説明会

- 複数の企業が参加する合同就職説明会の会場

### ➤ ファミリー向けのイベント

- サーカスや恐竜博など、子どもでも楽しめるイベント

## ■ 災害時における施設の活用

- 東日本大震災では、福島県の「ビッグパレットふくしま」のような**コンベンション施設が住民の避難所として使われた**
- 本施設は災害時における**防災拠点としての機能を有する施設を目指す**

### 防災拠点として期待される機能

#### コンベンション施設は**風雨をしのげる大規模空間**

- ✓ 地域の方の避難場所、広域的な避難場所
- ✓ 支援物資の集積や被災地へ分配する物流拠点
- ✓ 消防や自衛隊等の支援部隊の一時集結所

# 3 コンベンション施設の概要

# 施設の概要

## ■ 施設の規模と構成

### ◆ 規模と構成

区分	施設	面積	備考		
展示施設	多目的展示施設	10,000m <sup>2</sup>	最終目標を20,000m <sup>2</sup> 程度とする		
区分	施設	面積	収容人数	室数	合計
会議施設	メインホール	1,300m <sup>2</sup>	1,000人	1	1,300m <sup>2</sup>
	大会議室	600m <sup>2</sup>	500人	1	600m <sup>2</sup>
	中会議室	300m <sup>2</sup>	200人	4	1,200m <sup>2</sup>
	小会議室	75m <sup>2</sup>	40人	4	300m <sup>2</sup>
	計	—	2,460人	10	3,400m <sup>2</sup>
区分	規模	備考			
駐車場	2,000台	—			

◆ 概算事業費 約280億円

## ■ 外構と周辺整備

- ① 周辺環境と調和するように、憩いの場となる緑地帯を施設の周囲に整備する。
- ② 渋滞などの影響を抑え、来場者が円滑にアクセスできるよう、周辺の道路整備を行う。



## 4 コンベンション施設の効果

## ■ ビジネスチャンスの拡大と交流人口の増加

- 展示会や学術会議は、人口減少によって経済規模が縮小していく中において、**企業の新たなビジネスチャンスの拡大につながる**
- 多数の来場者が訪れることで**交流人口が増加**

## コンベンションの開催によって

- ✓ ビジネスチャンスの拡大により企業の活性化や、新たな産業の創出を促す
- ✓ 交流人口の増加により新たな経済需要を喚起

**県内の産業経済の活性化**

## ■ 新たな産業を生み出す装置

- 展示会や学術会議は、企業や技術者、研究者の出会いの場であり、企業等がコラボレーションする機会でもある
- コンベンション施設は**新産業を生み出す装置**

### コンベンション施設によって

- ✓ 企業等の連携・交流による創業機会の創出
- ✓ 人や情報の交流による新たな産業の創出

**新産業を創出するイノベーション装置**

## ■ 展示会は世界につながる

- 展示会は国内のみならず国外の産業や業界の動向に合わせて開催される
- 様々な分野の新たな展示会が開催されており  
世界中の産業や業界の動向を捉えるアンテナになる

### 群馬県で展示会が開催されれば

- ✓ 群馬県にいながら、または群馬県に来県することで世界の産業や業界の動向を捉えることが可能

**群馬県が世界につながる窓口**

## ■ 若者女性の活躍

- 本県の人口は、このまま手を打たなければ2060年に約120万人まで減少すると予測されている
- 人口減少の大きな要因である若者や女性の東京への流出に歯止めをかけるために、**雇用の場を創出する必要がある**

### コンベンション開催を通じて

- ✓ **コンベンション関連産業の拡充により、サービス業を中心に若者が活躍する雇用の場が広がる**
- ✓ **展示会やイベントの企画・運営などは若者女性にとって魅力ある雇用の場となる**

**県外へ向かう若者の流れを変える**

## ■ コンベンション開催による交流人口

年間来場者数

**約96万人**

(需要調査の結果から試算)

### 内訳

展示施設来場者数	約83万人
会議施設来場者数	約16万人
展示施設・会議施設来場者数重複分	▲約3万人

■ コンベンション開催による経済波及効果

経済波及効果

約128億円

(群馬県産業連関表から算定)

就業者増加数

約1,500人

(群馬県産業連関表から算定)

## ■ 幅広い経済効果

- 経済波及効果 1 2 8 億円を**県内の産業界**で受け止める

### 関連産業の具体例

- ① 展示・装飾、人材派遣、機材レンタル、グラフィックデザイン、警備、清掃、電気工事、配管工事、模型製作、広告、花屋、学会運営会社、通訳、翻訳、速記、印刷、出版、写真、アナウンサー、ケータリング、保険 等
- ② 旅館、ホテル、レストラン、給食産業、飲食店 等
- ③ 旅行代理店、鉄道、バス、タクシー、配送・倉庫業 等
- ④ 観光施設、娯楽施設、文化施設、観光案内所 等
- ⑤ 銀行、病院、医療、郵便局、通信、マスコミ 等



**幅広い産業に大きな経済効果**

## ■ 県内各地への経済効果

- 大規模なイベントやコンサート（ライブ）を開催することで本県の魅力を高める
- 世界遺産、温泉、自然、農畜産物、歴史、文化等を活用してコンベンションに訪れた人々を県内各地に呼び込む

### コンベンション開催により

- ✓ 県内各地でコンベンションに関連した観光
- ✓ コンベンションの関連イベントに県内各地のユニークベニユーを活用

**県内各地へ効果を波及**



# 5 施設整備に関する質問

**Q.** 高崎にコンベンションの需要が本当にあるのか？



**A.** 数多くの利用意向が寄せられています

展示会の主催会社や業界団体、音楽プロモーター、学会関係者など、有力な利用者から数多くの利用意向が寄せられています

- **平成24年度調査 269件**  
(主に県内を中心に調査)
- **平成26年度調査 113件**  
(主に県外を中心に調査)
- **平成27年度調査 112件** (平成28年2月末時点)  
(主に県外を中心に調査)



**Q.** 群馬県で大規模なコンサートが開催できるのか？



**A.** 多くの音楽プロモーターが本県施設に期待しています

- **コンサート開催件数は年々増加**  
CD販売等が減少していることから、収入源として、コンサート(ライブ)に注目が集まり、開催件数と市場規模は大きく増加している
- **コンサート(ライブ)の需要に対して施設が不足**  
首都圏の施設だけでは増大するコンサート(ライブ)の需要に対応できない



**Q.** 総事業費がどんどん膨らむのではないか？



**A.** 事業進捗の節目毎に厳しくチェックします

- 設計案と建設費を県が入念チェック  
県が厳しいチェックを重ねて事業費の増大を抑える
- 華美を排した機能的な施設を目指す  
設計は華美を排した機能的な施設となるよう配慮
- 概算事業費 約 280 億円



**Q.** 施設完成後、維持管理費が県財政を  
圧迫するのではないか？



**A.** 安定した経営に努めます

- 年間利用料金収入 約 5 億円と試算  
需要調査を基に約 5 億円と試算
- 年間維持管理費 約 4 億 1 千万円と試算  
国土交通省の「建築物のライフサイクルコスト」などを基に試算
- ランニングコストを抑えた設計に配慮



**Q.** 都内を中心に多くのコンベンション施設がある中で高崎は競争に勝てるのか？



**A.** 十分競争できます

- **立地条件が極めて良好**  
新幹線の駅から徒歩圏内にある大型施設は全国的にも極めて稀
- **高崎の交通拠点性**  
東京から1時間という立地に加え、高速交通網の結節点に位置する
- **コンサート(ライブ)の需要に対して施設が不足**  
首都圏の施設だけでは増大するコンサート(ライブ)の需要に対応できない



**Q.** 高崎市が競馬場跡地の近くに音楽ホールの建替を計画している。二重投資にならないか？



**A.** お互いに連携できる施設です

- 県施設は平土間で自由な設営が可能  
展示場、会議施設のどちらもステージや椅子、机等を自由に配置可能
- 市が整備する音楽ホールは階段状の固定席  
クラシックコンサートに適した2千席程度の規模
- 連携による相乗効果  
1つの施設で対応できない多彩なイベントも開催可能



**Q.** 効果が高崎周辺に限定されるのではないかと？



**A.** 県内各地で効果が期待できます

県内各地の資源を生かした群馬ならではのコンベンションの開催に努めます

- **県内各地のユニークベニユーの活用**  
文化会館や美術館などのユニークベニユーでコンベンションを開催
- **コンベンションに関連した県内各地への観光**  
コンベンション開催前後に行われる温泉地や世界遺産などへの観光
- **県内各地の産業の高度化**  
コンベンションの開催を通じて得られた情報や人脈によりものづくり産業をはじめとする県内産業が高度化



**Q.** 県民も利用できる施設になるのか？



**A.** 多くの県民に使っていただける施設になります

- 一般県民が楽しく参加できるイベントの開催  
コンサート(ライブ)や展示即売会などを開催する施設
- 主催者としての利用  
会議やイベントの主催者としても利用可能
- 緑地帯の散策  
施設周辺に整備する緑地帯は公園のように散策が可能



**Q.** 周辺の渋滞対策など、アクセスは大丈夫か？



**A.** 周辺道路の整備を行います

- 施設の北側にメインのアクセス道路を新設  
東毛広域幹線道路から幅27m・5車線の道路を新設
- 施設の南側道路(競馬場通り線)を拡幅  
西から東へ向かう車線を1車線から3車線に拡幅
- 併せて周辺の交差点の改良を実施



# 6 まとめ

# 今後のスケジュール

## ■ 施設整備に向けた取組み

➤ 2020年の**東京オリンピックまでの開業**を目指します



**コンベンション施設は**

**将来に向けた投資であり**

**経済の維持・発展を牽引する社会インフラ**

**これからも様々なご意見をお聞きしながら**

**計画を進めていきます**

# コンベンション関連産業振興戦略の概要

※コンベンション関連産業部会  
戦略策定委員会の検討を経て策定

平成28年2月9日 群馬県産業経済部次世代産業課

## 現 状

- ・ コンベンションは幅広い関連産業にビジネスチャンスをもたらす。
- ・ コンベンション関連産業は女性や高齢者等の活躍の場として期待できる。

コンベンションの開催によるビジネスチャンス  
(イメージ)



数百人～数万人規模の人の流入



## 目 標

県内企業のコンベンション関連産業への積極的な参入を支援し、コンベンション開催に伴う新たなビジネスチャンスの獲得を目指す。

## 振興施策の方向性

### 1 コンベンション関連産業の機運醸成による参入企業の拡大

ビジネスチャンスの「見える化・具体化」、求められるサービスの内容・質等の共有化

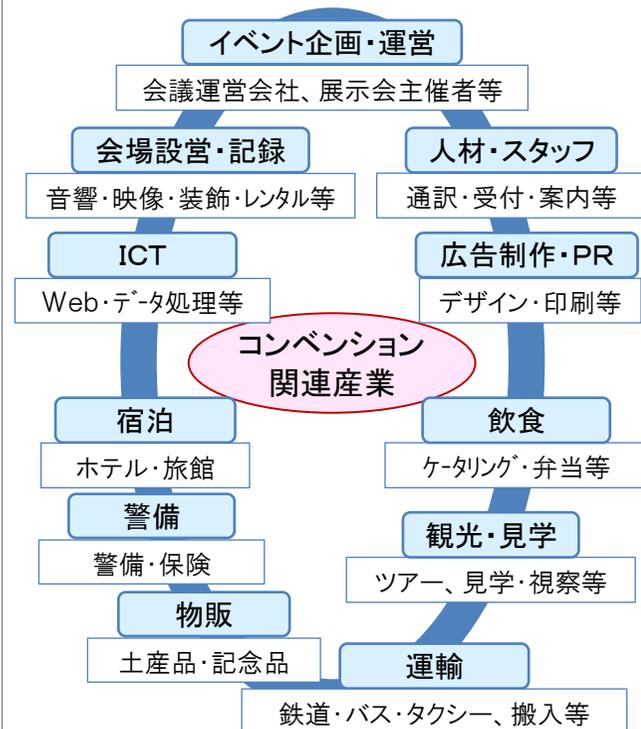
### 2 多彩なコンベンションを開催できる、人や企業間のネットワーク形成

県内の事業者同士、県外事業者との情報交換、主催者とのマッチングなど

### 3 「群馬ならではの」の素材を提案できる環境づくり

群馬ならではのユニークな会場、サービス、食、観光等をビジネスとして具体化

主な「コンベンション関連産業」分野



目標(KPI) 参入企業数 100社(H31年度)

# 群馬県次世代産業振興戦略 分野別戦略

## (6) コンベンション関連産業

コンベンションの推進に伴い、幅広い産業が関係する新たな需要の拡大が期待されることから、コンベンション関連産業の振興を戦略的に実施することにより、県内産業の活性化とともに、若者や女性等が活躍できる新たな雇用の場の創出を図る。

### 1. 現状と見通し

#### ■ 今後のコンベンション県内開催の見込み

- ・現在も県内各地でコンベンションが開催されているが、平成32年度の開所をめざす高崎競馬場跡地へのコンベンション施設の設置を契機として、今後、コンベンションの開催が一層増加する見込みであり、これに伴う関連産業の需要も拡大すると期待する。
- ・高崎コンベンション施設の開所により、年間128億円の経済波及効果が期待できると試算している。

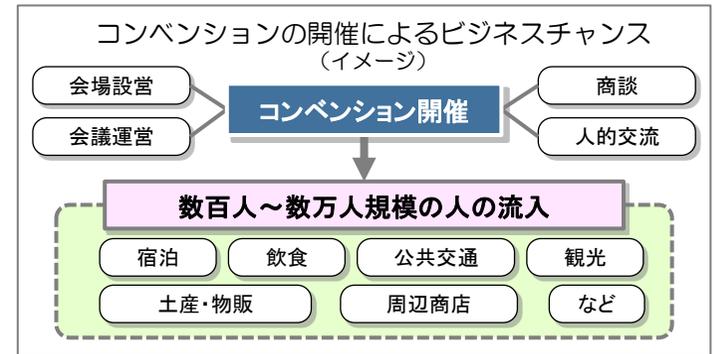
#### ■ コンベンション関連産業の現状

##### (1) コンベンションは幅広い関連産業にビジネスチャンスをもたらす

- ・コンベンションの開催には、ディスプレイや映像・音響などの会場設営、会議運営・イベント企画などの幅広い産業でニーズが生まれ、ビジネスチャンスをもたらす。
- ・コンベンションの開催は、交流人口の増加による「新たな人の流れ」や「新たな需要」を誘発し、これにより、宿泊、飲食、観光、物産、地域商業等の幅広い産業に、大きなビジネスチャンスが生まれる。

##### (2) コンベンション関連産業は女性等の活躍の場として期待される

- ・コンベンション関連産業は、主催者等へのきめ細やかな対応やコミュニケーションなどが求められ、女性に適した職場である。また、業務内容によっては、育児のため離職している女性にも働きやすい環境でもあり、女性の活躍の場として期待できる。



高崎コンベンション施設の年間経済波及効果推計

各種効果(※)	直接効果	波及効果		合計
		1次	2次	
生産誘発額(百万円)	8,257	2,532	1,990	12,779
就業者増加数(人)	1,132	192	159	1,483

### 2. 本県の強み

- 首都圏から100km圏内の立地条件が誘致に有利であり、実際の誘致による関連産業の振興が期待できる。
- 農畜産物の生産地と開催地が隣接していることから、新鮮な食材による地産地消など「群馬ならではの」食が提供可能。
- 多彩な温泉地等、観光資源に恵まれており、魅力的なユニークベンチャーやアフターコンベンションなどを提案できる。
- ものづくり産業が集積した産業構造を持つことから、学会併設展示会や産業展示会における外部経済効果が大きい。工場見学や産業観光などを、群馬ならではのおもてなし資源として活用することが期待できる。

### 3. 課題

- コンベンション開催による「新たなビジネスチャンス」の概要、求められるサービスの内容・質などの情報を共有し、関連産業の機運醸成を図ることが必要である。
- コンベンションの運営にあたっては、主催者(PCO含む)と幅広い関連産業がチームとなって対応しており、人と人とのつながりが基本となっている。コンベンション関連ビジネスにおいては、人的なネットワークの形成が重要となる。
- 群馬ならではの、魅力ある、具体的なもてなし(食、会場、体験、演出など)を企画し、関係者間調整の上、提案・実施できる、調整機能(DMC機能)が必要である。

- ※・直接効果:コンベンションを開催することで、主催者、出展者、来場者の支出によって新たに創出された需要額
- ・1次波及効果:直接効果の該当する消費活動を満たすための一連の商取引で発生する需要額
  - ・2次波及効果:一次波及効果に関連した事業者が生じる給与所得をもとに発生する需要額

## 4. 目標

県内企業のコンベンション関連産業への積極的な参入を支援し、コンベンション開催に伴う新たなビジネスチャンスの獲得を目指す。

## 5. 振興施策の方向性

### ① コンベンション関連産業の機運醸成による参入企業の拡大

コンベンション開催によるビジネスチャンスの概要、主催者から求められるサービスの内容・質を明らかにするなど、事業者が関連産業へ参入判断できる情報を定期的に発信し、関連産業参入企業数を増加させるとともに、県内事業者による関連需要の取り込みを支援する。また、大規模コンベンションを想定した事前シミュレーションや開催現場の視察など、事業者による具体的なビジネスモデル構築を支援することで、関連産業の機運醸成、参入企業の拡大を図る。

### ② 多様なコンベンションに対応できる、人や企業間ネットワークの形成

コンベンションは主催者と幅広い関連事業者が連携して対応しているため、多様なコンベンションに対応できる県内事業者同士のネットワークとともに、県外事業者との情報共有(主催者ニーズ、開催トレンドなど)を目的とした広域的なネットワークの形成を支援する。また、主催者とのマッチング機会の提供など、ビジネスネットワークの形成を支援する。

### ③ 「群馬ならではの」素材を提案できる環境づくり

主催者や参加者のニーズに応じて、「群馬ならではの」素材(食やサービス、アフターコンベンション、会場等)をコーディネートし、関係者調整の上、具体的な商品として提案できる環境づくり(DMC(※)機能の強化)を支援する。また、既存の資源(観光資源や商品、サービス)について、コンベンションという視点から新たな提案方法を検討するとともに、群馬のポテンシャルを発掘し、商品化できる人材育成を支援する。

※Destination Management Companyの略

## 6. 振興施策にかかるロードマップ

	H27	H28	H29	H30	H31
①関連産業の機運醸成による参入企業の拡大		ビジネスチャンスやビジネスモデルなどの情報を共有し、県内企業による関連産業への参入を支援 コンベンション開催によるビジネスチャンスの調査 ビジネスチャンス獲得のための情報共有			
②人的ネットワークの形成		県内企業同士のネットワーク形成、県外企業との広域的なネットワーク形成 主催者等とのビジネスネットワークの形成			
③群馬ならではの素材を提案できる環境づくり		主催者や参加者、施設運営者、事業者のニーズを一元的にコーディネートできるDMC機能の強化 コンベンション視点による資源の新たな提案方法の検討及び商品化 群馬のユニークな開催素材(ユニークベニュー、同伴者プログラム、チームビルディング、産業観光など)の商品募集 DMC機能を提案できる人材育成			